

特集

ブレずに安心！ 尿もれのミカタ

企画にあたって

尿失禁により、生活の質は大きく障害されます。治療が成功すると、われわれの予想以上に患者さんから感謝の言葉をいただき、その困窮の程度を日常診療で実感します。尿失禁への対応については病態に応じた下部尿路症状関連の診療ガイドラインに記載されていますが、目の前の尿失禁患者さんの病態を的確に判断して該当するガイドラインを選択し有用な情報を得る作業は日常診療において容易ではありません。

今回、尿失禁に関する特集企画の依頼を受けました際に、まず尿失禁診療に携わる方々の目にとまるような大見出しを考えました。「……ずに安心」、「……のミカタ」（味方または診方）はどこかでご覧になったことがあると思います。次に、尿失禁患者さんの性別そして主たる既往症または併存症ごとに中見出しを作成し、診療で困った場合すぐに調べられるよう工夫を凝らしました。男性の項では前立腺に関連する尿失禁を手術前そして手術後に分類し、女性の項では過活動膀胱に加えて骨盤底障害に関連する尿失禁を載せました。さらに、神経疾患が背景にある場合、蓄尿症状に合併することが多い「冷え」を伴う場合、そして脆弱な高齢患者の場合という項を設けました。

それぞれの分野において第一線で活躍しておられる先生方に執筆をご担当いただき、最新のエビデンスにエキスパートオピニオンを加味された充実した内容となりました。本特集をお手元においていただき、尿失禁診療に少しでもお役に立てば幸いに存じます。

奈良県立医科大学
泌尿器科学教室

鳥本 一匡